

令和8年度研究科入学者選抜試験問題(第2次募集)出題意図、模範解答
《医学系研究科 看護学専攻 博士後期課程》

出題意図

医療・看護学分野の英文を読み、英文法を十分理解し、正確な読解力と大意を把握する能力など看護学専攻大学院生として必要な英論文の読解と作成する能力および基礎的学力の程度を確認することを意図として出題した。

和訳回答

問1

医療技術の進歩は寿命を延ばす一方で、疾患の持続期間を延長し治療選択肢を増やし、共有意思決定(SDM)プロセスを通じて医学的視点と患者の視点に基づく治療決定を必要としている。

問2

これらの患者は植込み型左室補助装置(LVAD)設置後に有害な合併症を経験する可能性が高く、これが病状や健康関連 QOL に重大かつ悪影響を及ぼし、ケア負担の増大につながる。

問3

意思決定支援における看護師の固有の役割を理解することは、困難な意思決定と重要なタイミングにおける複雑な共有意思決定(SDM)を管理するための異なるアプローチの開発につながる可能性がある。

問4

新たに特定された「共創」の役割とは、集中治療看護師が患者、家族、医療関係者と関わり、選択された治療が実施された後の患者の日常生活に集中治療看護師が関与する中で、様々な境界を越えた視点を共同で創造することを意味する。

問5

多職種共同-共有意思決定(IP-SDM)を改善するためには、集中治療看護師が看護チーム内で連携し、価値観や意味の探求に焦点を当てた意思決定支援を患者に提供するとともに、医療チームに貢献すべきである。